

発議第 2 号

高額療養費の現行制度の維持を求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和7年3月14日

提出者

八雲町議会議員 佐藤 智子

賛成者

八雲町議会議員 横田 喜世志

八雲町議会議員 斎藤 實

八雲町議会議員 関口 正博

八雲町議会議長 千葉 隆 様

高額療養費の現行制度の維持を求める意見書

政府は高額療養費の自己負担の上限額を引き上げようとしている。

一般社団法人・全がん連（全国がん患者団体連合会）等は、2月12日に福岡厚生労働大臣らと面会し、患者たち3千人以上の声を集めたアンケートと、引き上げ中止を求める約13万人分の署名を手渡した。福岡大臣は、長期の高額治療を続ける患者に配慮した形で修正を検討すると答えたが、全がん連の天野理事長は「引き上げにより、治療と仕事を両立する現役世代の患者の生活が破綻する可能性がある」と訴えており、団体側は見直し自体の凍結を求めている。

厚生労働省は、高額療養費制度見直しの理由として、「賃上げの実現」で世帯収入が増えたことや、現役世代の保険料負担の軽減をあげている。しかし、『令和6年版 労働経済白書』では、「実質賃金は、年間通じて減少しており、21か月連続の減少」と述べており、物価高騰によって実質賃金が減少していることを指摘している。現役世代の負担軽減に関しても、突然の事故や病気などで高額な医療費が請求されることは現役世代にもありうることであり、高額な医療費の自己負担分を抑える高額療養費制度は全世代にとって重要な制度である。

よって、国においては、高額療養費の現行制度の維持を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月14日

北海道二海郡八雲町議会議長 千葉 隆

【提出先】

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣
財務大臣